

スタジオ通信

2018~2019
8月 6月

<編集・記/白奥 薫>

2018

●上海国際バレエコンクールサマースクール

(2018.8.3~11)

かねてより親交のある中国・上海市舞蹈学校=上海戲劇学院附属舞蹈学校から、第6回上海国際バレエコンクールの関連イベントのバレエサマースクールに、熊本バレエ研究所学生 2名の招待をいただきました。研究科Eクラスの坂田温朗さんと研究科Dクラスの岡崎桜子さんが参加。全中国から選ばれた学生と共に有意義な一週間となりました。



▲参加者全員で最終日の女子パフォーマンス。



▲男子クラス
最終日のパフォーマンス。
左端が坂田温朗さん。

▼中央に林美幸先生。
女子クラスの皆さんと
岡崎桜子さん。(上段右から
2人目)



●マーティンフリードマン先生 特別レッスン

(2018.8.25・26 東部教室)

ジャパン グランプリ(全国ジュニア・バレエ・コンクール)ディレクター、キーロフ アカデミー オブ バレエ ワシントンDC前校長のマーティンフリードマン先生恒例の特別レッスンに、ジュニアBクラス以上の研究生50名が参加しました。



●八代市文化祭

(2018.10.27 やつしろハーモニーホール)

2018八代市文化祭に八代教室の研究生14名が出演しました。

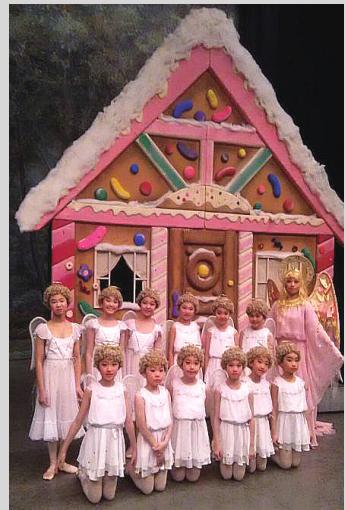


大きな大会サインの前でパチリ

●オペラ「ヘンゼルとグレーテル」

(2018.11.23 熊本県立劇場)

ラスカラ・オペラ
協会主催 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」に教師の甲斐 梢
とジュニアBクラス 12名が天使役で出
演しました。



●ひまわり幼稚園才能教室発表会

(2018.12.9 荒尾市民会館)

ひまわり幼稚園才能教室に、玉名教室の研究生26名
が参加、「くるみ割り人形」組曲を踊りました。



●伴 征子「女性栄誉賞」を受賞。

(2018.12.17 熊本ホテルキャッスル)

女性の社会奉仕団体「国際ソロプチミスト熊本すみれ」よりバレエの指導に約50年携わり、国内外で活躍する教え子を育てたほか、小・中・高で公演を続けるなど青少年の健全育成に貢献があったとして「女性栄誉賞」をいただきました。



●熊本バレエ研究所 クリスマス

スタジオパフォーマンス (2018.12.16, 22, 23)
クリスマススタジオパフォーマンスを東部教室・八代
教室で開催。日頃のレッスンの成果を
ご家族に披露、大好評でした。

12月16日／東部教室
22日／八代教室
23日／熊本教室



● 各教室では研究生有志が
手作りのプログラムを作成。
見事な出来栄えで、
パフォーマンスに
花を添えました。

●玉名女子高等学校 芸術鑑賞会

(2018.12.18 玉名市民会館)
ダンサー、教師、スタッフを含め33名で、熊本バレエ劇場一のしいバレエ入門講座を行いました。卒業生の大塚朱莉さんと在校生の下田愛衣さんも出演。



バレエ体験会では、
先生方も参加。
大爆笑の盛り上り
でした。

(公社)日本バレエ協会九州南支部主催

●ウインター・コース<コンテンポラリー講習会>

(2018.12.26,27 東部教室)

恒例のウインター・コース講習会では講師に二見一幸先生をお迎えし、東部教室で開催。鹿児島・宮崎・大分・熊本の4県から約100名が集い、熊本バレエ研究所からは19名が参加。熱いレッスンが繰り広げられました。



▲二見先生を囲んで

2019

●コンテンポラリークラス開講 (2019.1.13 熊本教室)

山本恵里香のコンテンポラリークラスがスタート。初日20名が参加し、熱気あふれるレッスンとなりました。



Junior Ballet Festival 2019



(公社)日本バレエ協会九州南支部主催

●ジュニアバレエフェスティバル2019 in 熊本

(2019.3.24 市民会館シアーズホーム夢ホール)
公益社団法人 日本バレエ協会九州南支部 第29回
ジュニアバレエフェスティバルが熊本で開催され、九州南4県(大分、鹿児島、宮崎、熊本)の15団体
380人が参加、それぞれカラーのある作品を披露しました。熊本バレエ研究所からは "Celebration" ~
眠れる森の美女によせて~を披露、56名が出演しました。

●「クララ」に伴征子登場。

"Clara" (SHINSHOKAN) 4月号の「バレエGIRLのお教室マナー」に伴征子が
登場しました。



この度、災害による休講など「急なお知らせ」を熊本
バレエ研究所のホームページに掲載することにしました。
またホームページの<お知らせ>のカテゴリーに
スタジオの最新情報を度々更新しております。

携帯電話・スマートホンでもご覧いただけます。



●吉留 諒さんロミオ役に抜てき

東京シティ・バレエ団で熊本バレエOBの吉留 諒さんが東京シティ・バレエ団公演「ロミオとジュリエット」全2幕(7月14,15日 ティアラこうとう大ホール)で主役、ロミオ役に抜てきされました。「クロワゼ」(SHINSHO



●東京シティバレエ団で研修

(2019.4.15~26 東京シティ・バレエ団)

今回、研究所のご支援を頂き、東京シティ・バレエ団のインターンシップ制度を利用して2週間研修を受けてきました。団員の方と同じ稽古で、とても緊張しました。一緒に稽古を受けていく中で、体を整え舞台に向けて自分の体を大切にするダンサーの高いプロ意識を間近で見る事ができました。私自信は沢山の稽古で頭が一杯になり、体のケアや体調管理が疎かになりました。今回の研修で、自分では日頃あまり気にならなかった事の一つ一つがプロのダンサーにとって“より良い舞台を作る”事に繋がるのかを学ぶ事が出来ました。頂いたチャンスをこれから自分づくりに繋げていきたいと思っています。ありがとうございます。

(小山由衣)



東京シティ・バレエ団、監督の
中島 伸欣先生と

TOPIX

スタ通
《留学生便り》

●高木風音さん、 ワガノワ国際バレエコンクールで ファイナリストに

(2018.10.14-21 サンクトペテルブルク)
ロシア サンクトペテルブルクで行われた第8回ワガノワ国際バレエコンクール(Vaganova-PRIX)で、高木風音さんがファイナリストに選ばれました。



◎高木風音さんは2019年6月、ロシア国立バレエアカデミーをクラシック科目で最高成績をおさめ卒業。プロダンサーを目指して活動中。

●高木風音さん、レッスン便り

(ロシア国立ワガノワバレエアカデミー留学)

4月16日にクラシックの試験が終わりました。試験に向けての練習は想像を超えてハードできつたですが、とても充実して学ぶ事が多かったです。周りのロシア人はできても私ができない事が多かったです。しかし先生は毎回毎回丁寧に指導してくれました。エグザム前の練習で踵を両足靴擦れして痛すぎてポントワークで途中止まつたりした時も先生は治し方を教えてくれ、前日には痛みが大分引いて良かったです。できない時先生の注意を意識すると本当に魔法の様に、できてしまうので毎回驚きます。エグザム当日、全部が思った様には踊れなくて悔しい所が多かったです。やはりつま先の弱さ、ルレベの低さが目立ちました。そして、水の滴る様な指先、しなやかな腕の使い方、強くて軽い脚さばき、顔の向き、肩を下げる、これが私の今までのそしてこれからとの課題だと思います。私にとっては、難しいのですが、絶対に得ることができると思うので、これからも練習頑張ります。表現力豊かで、飛び抜けて輝ける様なバレリーナになります。



●坂田温朗さん (英国・ランベールスクール留学)

昨年9月から、イギリスのRambert School of Ballet & Contemporary Danceという学校に留学をしています。毎日バレエとコンテンポラリーダンスの授業があるのに加え、振り付けやインプロ(即興)なども授業で学んでいます。さらにはピラティスや座学の授業も行われ、座学では、解剖学や栄養学、心理学をはじめとする多岐に渡った分野の講義や、生徒同士によるディスカッションを行っています。

その中でも一番初めに学校で教わったことは、お互いの違いを尊重し、認め合うことでした。当たり前のことのように聞こえますが、学校の生徒はみなそれぞれ話す言葉も違えば、人種や考え方も様々です。そのため、今まで頭に思い浮かびもしなかったことが、当たり前にすぐそばで起こります。今まで当たり前だと私が思っていたことは、世界中の誰にとっても当たり前のこと、というわけではないのです。むしろその違いこそが、それぞれの自己同一性を生み出し、ダンサーとしての個性を引き出すことへと繋がります。

1学年を終えて、踊りの技術を磨くことや必要な知識を増やすことだけでなく、人間的な発見もたくさんできました。この貴重な経験をさせてもらえることに感謝して、これからもより高みと深みを目指して励みます。

